

使用教科書: Landmark Fit Lesson 8 Nagai Mariko Super Interpreter

実施時期: 12月上旬～中旬

●単元の狙い(教科横断型授業のみ)

- ・AI 翻訳機と人間の通訳のメリット・デメリットを考察する。
- ・グローバル社会を生き抜くために、AI とどのように共存するか考える。

●導入

- ・長井鞠子氏の通訳者としてのキャリアを学んだ後、「美しい故郷、浪江町」を”beautiful Namie Town as our home”と英訳した経緯について考察し、翻訳とは単に言葉を訳することではないことを伝える。
- ・将来海外で働くことを仮定し、言葉が上手に通じない環境でどのように仕事をしていくか、大切にすべきことは何か考えさせる。

●AI 翻訳機と人間の通訳のメリット・デメリット(生徒の意見から)

< AI 翻訳機 >

○メリット

- ・持ち運びが簡単(ポケットサイズ)
- ・一度購入したら長期間使える
- ・(人間の通訳を雇うのと比較して)コストがかからない
- ・手軽に利用できる
- ・1台で多くの言語に対応可(最大60の言語に対応)
- ・アップデートが可能

▲デメリット

- ・故障したらおしまい
- ・誤訳が多い
- ・感情を上手に表現できない
- ・Wi-fi 環境が必須
- ・TPO に応じた翻訳ができない
- ・タイムロスが生じる

< 人間の通訳 >

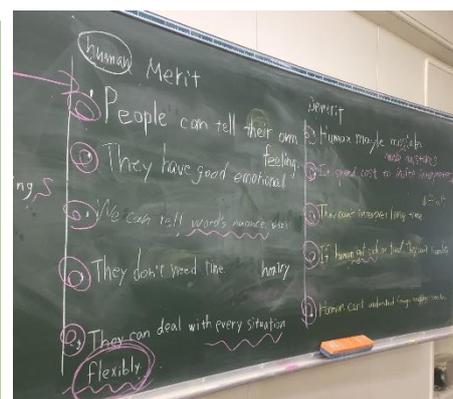
○メリット

- ・場面に応じた対応が可能
- ・人間の感情、立場などを考慮できる
- ・通訳以外の相談もできる
- ・臨機応変な対応ができる
- ・母国語が通じる人がいる安心感がある

▲デメリット

- ・雇用コストが割高
- ・複数言語への対応が難しい
- ・長期間の依頼が難しい(スケジュール面・コスト面)
- ・労働環境、体調面の配慮が必須
- ・人間関係に気を遣う

・AI 翻訳機と人間の通訳に対するメリット・デメリットについての生徒の意見(一部) ⇒
 ・個人でアイデアを出した後、ペアでディスカッションし、他のペアと意見が重ならないように黒板に記載する。細かな文法の間違ひは指摘せず、出てきたアイデアをクラス全体で尊重する空気を作ることを大切にしている。



●まとめ

年度当初の計画では、AI 翻訳機 VS 人間の通訳をテーマにディベートを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、実施を見送ることにした。代替案として、上記の生徒から出た意見をベースしたエッセイライティングを行った。

○エッセイライティングのシチュエーション

- ①あなたは海外勤務をすることになり、会社から異業種の人も集まる Welcome Party へ参加依頼が来た。
- ②party での共通言語は英語。あなたの英会話力は日常会話レベル程度。
- ③Welcome Party は人間関係づくりが目的のアットホームなもの。ビジネスの話はしない。
- ④日本人の参加者はあなただけ。

以上の4つの条件をイメージし、「あなた」は、AI 翻訳機(最新版)か人間の通訳かどちらと一緒に Welcome Party に参加をするか、理由を併せて述べることとした。また、自分の意見をサポートするための例を2つ、生徒たちが板書をしたものの中から選ばせ、内容を深めるよう指示をした。

○エッセイの構成

トピックセンテンス ⇒ 具体例1 ⇒ 具体例2 ⇒ 反論 ⇒ 再反論 (⇒ 結論)

○エッセイの評価

文の構成	5・3・1 (エッセイの構成で提示された型に沿ってライティングができているかなど)
内容	5・3・1 (具体例に説得力があるか、反論と再反論に論理の破たんがないかなど)
文法・つづり	3・2・1 (文法や単語のつづりミスがないかどうか)
長さ	2・0 (指定された語数に収まっているか)

計 15点満点

○生徒の反応

< AI 派 >

- ・アットホームなパーティーという性質上、できる限り自力で会話をし、無理そうな場面で AI に頼る。
- ・人間の通訳が横にいと、保護者に連れられた子どものように思われそうで恥ずかしい。
- ・AI 機器を上手に活用できる人材であることを PR できる。
- ・海外で働くのであれば、いつまでも人間の通訳を雇うわけにいかないのだから、初めから AI と参加する。

< 人間の通訳派 >

- ・日本人が自分しかいないのであれば心細いので、最初は人間の通訳と一緒に参加したい。
- ・言語以外の文化の違いによるマナーやパーティーの心得なども教えてもらいたい。
- ・人見知りなので他の参加者との橋渡しもしてもらいたい。
- ・「こんな時はこのように言う」など随時アドバイスが得られる。

<通訳は無用(少数派)>

- ・人や機械に頼っていると、いつまでも英語力はつかない。
- ・自分でコミュニケーションが取れない人と仲良くなろうと思う人は少ないと思う。伝わらなくても自分で関係を築く努力をする姿勢が大切だ。

ビジネスの話をしていない人脈作りのパーティーということで、自身の英語力を活用した会話をベースに、AI 翻訳機
の力を借りるとした生徒の割合が多かった。人間の通訳を選んだ生徒は、日本人と一緒にいられるという安心
感を得ることや人間関係構築のための足がかりにしたいという記述が多かった。

コロナ禍のなかでディベートを行えなかったが、クラス全体で様々な意見をシェアしたうえでのエッセイライティ
ングであったため、多種多様な意見が見られたことが良かった。